

摂食障害(拒食・過食)

を乗り越えるための

親御さん向け 勉強会

7/27
Tuesday



お子様の困難でお悩みの方は、
一人で抱え込まずにぜひご参加ください

2021年7月27日(火) 定員になり次第受付を締め切らせていただきます

時間：10:30～12:00 参加費：3,000円

場所：淀屋橋心理療法センター

〒561-0872 大阪府豊中市寺内2-13-49 TGCマンション8-302

講師：精神科医師 福田俊一・臨床心理士 福田俊介

メール又は下記QRコードからお申込みください。

当センターでは、ご家族にアドバイスを差し上げることで、多くの「摂食障害」を解決してきました。
長年の経験から、摂食障害を解決する上で、ご家族の協力が大変重要だと我々は考えております。

摂食障害は、最初は軽い気持ちで始めたダイエットでも重症化しやすいのが特徴です。
その為、勉強会では重症化を防ぐポイントもお伝えする予定です。

また、「摂食障害は治るのか?」と疑問に思ってしまう方もおられるようですが、
とてもスッキリと解決した事例をご紹介します。

今回の勉強会は摂食障害のご本人向けではなく、親御さん向けです。
お子さんに接する上での参考にして頂ければ幸いです。

お申込みは
こちらからも可能です!



お問い合わせは：淀屋橋心理療法センター since.1983

tel:06-6866-1510

✉ ypc@mvh.biglobe.ne.jp

https://www.yodoyabashift.com

月～金曜日の10時～16時



1. 摂食障害 キレイに解決する場合とこじれる場合

講師: 淀屋橋心理療法センター所長/精神科医師 福田俊一

お子さんがイキイキと自分らしく生きられるようになった。

このように摂食障害がキレイに解決する場合と、こじれて泥沼化し、とても苦しい人生を送る場合があります。どちらに転ぶかは、親御さんの対応の仕方できちんと変わってきます。

2. ケース紹介 家族の接し方によって摂食障害が解決したケース

講師: 淀屋橋心理療法センター /臨床心理士 福田俊介

ケース1: 過食した後に、家族に当たり散らす20代の女性(過食症)

ケース2: 体重29kg、妹には沢山食べさせようとする大学生(拒食症)

3. 今日からできること

講師: 淀屋橋心理療法センター所長/精神科医師 福田俊一

お子さんにはそれぞれ“持ち味”があります。

摂食障害の原因ばかりを考えるのではなく、

“持ち味”を活かしたご本人のこれからの成長を考えるべきです。

昨日より今日、今日より明日、

元気になっていくための工夫をお伝えします。

お申込みは
こちらからも可能です!



講師紹介

精神科医師 福田俊一

淀屋橋心理療法センター所長で精神科医師。日本の実践的家族療法の草分け的存在。初めて家族療法専門機関を日本で設立し、実践、技法の開発、家族療法家の育成に貢献した。その後は、不登校、ひきこもり、摂食障害、うつ、家庭内暴力(子から親へ)、リストカット等の家族療法の開発に尽力している。著書多数。



臨床心理士 福田俊介

臨床心理士・公認心理師(国家資格)。オレゴン大学卒業後、自動車関連会社に勤務。その後、兵庫教育大学大学院 学校教育研究科を卒業。2013年より淀屋橋心理療法センターに勤務している。現在、主に不登校・ひきこもり・過食症・ゲーム依存を担当し、お子さんそれぞれの性格に合った具体的な対応を親御さんにアドバイスしている。



淀屋橋心理療法センターのご紹介

淀屋橋心理療法センターは、1983年(昭和58年)にわが国初の家族療法カウンセリング専門機関として、所長・福田俊一(精神科医師)が設立しました。ご本人だけでなくご家族にもアドバイスを出すことでご家族も対応のコツがわかり、いち早く問題解決へと導くことが可能になります。

お問い合わせは:

家族療法による不登校・摂食障害・うつのカウンセリング

淀屋橋心理療法センター
since.1983

tel:06-6866-1510

月～金曜日の10時～16時

✉ ypc@mvh.biglobe.ne.jp

https://www.yodoyabashift.com

